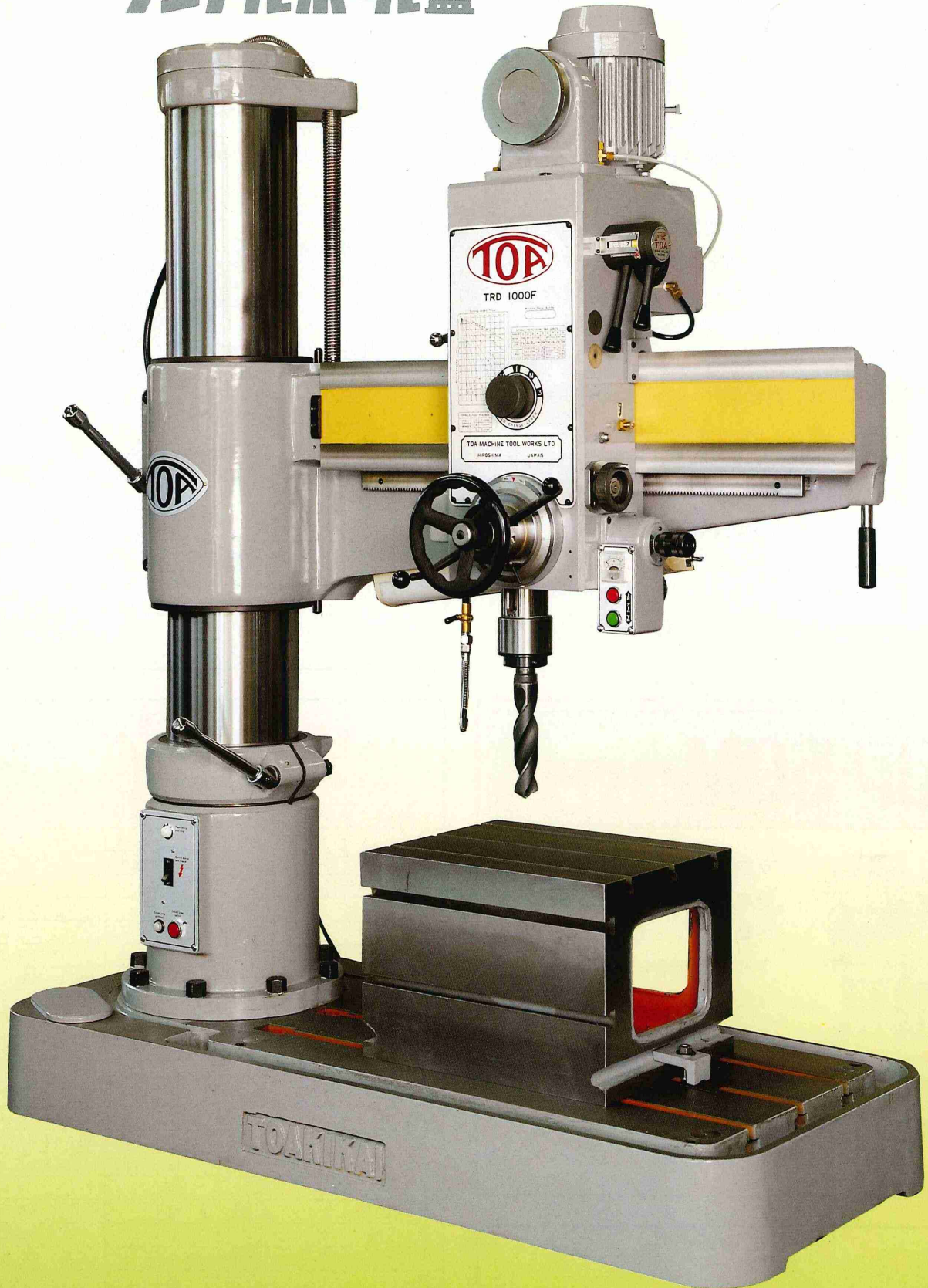




TRD-1000F

ラジアルボール盤



株式会社 東亜機械製作所



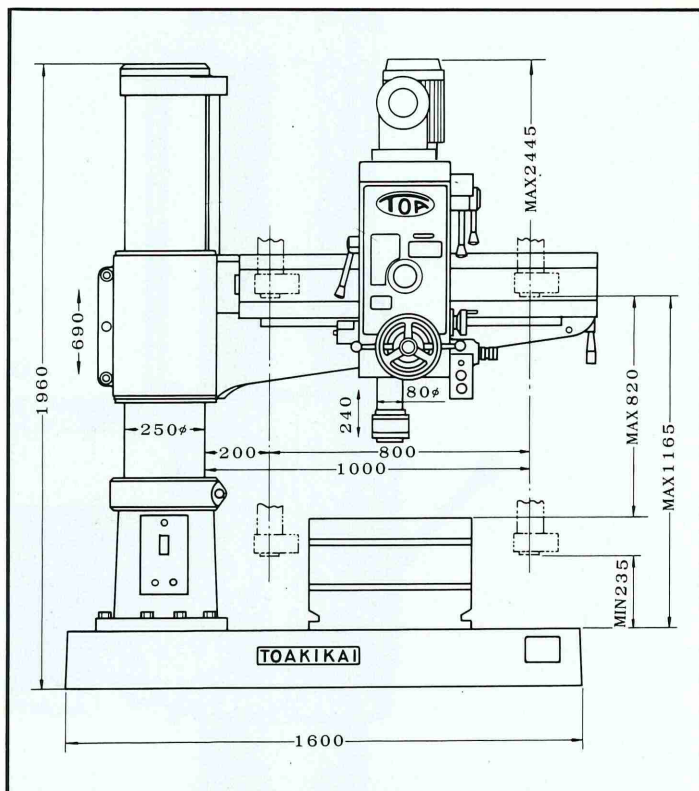
TRD-1000F

株式会社東亜機械製作所は、日本で最初の本格的な小型ボール盤を開発したメーカーとして知られ、以来ラジアルボール盤ひとすじに研究・開発を続け、多くの優秀な小型ラジアルを世に送り出して来ました。この間、新興メーカーが誕れ、消えて行く群雄割拠のボール盤業界の中で、“東亜のボール盤”としてその優秀さと機能が認められ、国内外の多大のお客様に根強く愛されて創業以来30周年を迎えたボール盤メーカーです。

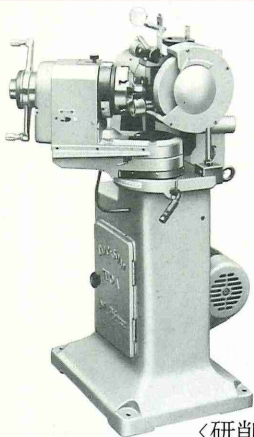
特 長

TRD-1000Fは、TRD-1000G と同一の機種で、主軸にダライカット装置(DDC装置)が内蔵されていないタイプです。

- ★主軸は、高速重切削に耐え得るよう十分な太さと剛性を持たせ、更に熱処理後精密研磨加工を施し軸受は3点支持方式の採用により強力な精密加工が出来ます。
- ★アーム摺動面には、高級鋳鉄を使用し焼入れ研磨加工が施されて、永に耐用年数と精度保持を保証しています。
- ★主要歯車、軸類は全てニッケルクロム鋼を使用し、熱処理後研磨加工され、回転部分への強制潤滑により円滑に回転伝導します。
- ★全ての操作レバーを前面に集中配備し、非常に作業能率が良く、いかなる作業にも適しています。
- ★各部の安全装置は、送り過負荷装置、昇降メネジ破損によるアーム落下防止装置、アーム昇降上下端停止装置、主軸寸動装置、アームクランプリミット装置等電氣的、機械的にも十分な安全機構が組込まれています。



TDP-50M ドリル研削盤



ラジアルボール盤の加工精度と能率の高度化は使用するドリルの精度によって左右されます。ドリルの研磨は人手ではなくドリル研磨機で研磨しましょう。ドリル研磨機はワンチャック。誰でも最高の研磨が出来る東亜のドリル研磨機で研磨して下さい。

〈研削能力 6φ～50φ〉

主要寸法

主要項目	(単位mm)	備考
コラム表面と主軸中心距離	最大	1,000
	最小	200
主軸頭のアーム上の横移動距離	最大	800
	最小	235
主軸端とベッド面距離	最大	1,165
	最小	235
アーム上下移動距離		690
主軸上下移動距離		240
コラム直径		250
最高高さ		2,445
コラム高さ×ベッド長×ベッド巾		1960×1600×700
主軸端とテーブル面距離	最大	820
孔明能力		50
		45
		45
タッピング能力		32
		25
主軸テーパ孔		M TNo.4
主軸回転数	9段	58~1464 (RPM)
主軸送り量	3段	$0.1 \sim 9 \sqrt[3]{R \cdot E \cdot V}$ (mm)
主軸直径		80
電動機アーム上下用		0.55KW
電動機主軸用		2.2 KW
作業テーブル長×巾×高さ		500×400×345
重量		1,800 kg

■標準付属品・作業テーブル…1個・作業用照明ランプ…1式
 ・クーラントポンプ及ノズル…1式・主要工具…1式
 ※本仕様は改良のため変更することがあります。